

大正十四年一月一日



山色連天

謹賀新年

見ればグラカイマ寧に高きして
けふれるがまくに大空にさよたり
あめ來らし高舉グラカイでいただきの
小確きはだる雲流る、山

若水さくみ奥は暗きつる
あしひきの高嶺の空ゆ雲飄けて
水や空さしイカアヌツの瀧

聖市
伊藤八十二

全 小林美登利
全 長谷川末記
全 西郷隆治
全 高岡専太郎

黎明の陽を浴び
そび立つ高峯
けぶれるうちに
大空に連る

ほし
はの見ゆいただき
自由の大氣にいきづき
輝やかしい光のうちに
深、喜び
萬象回生を私語き
瑞色天に連る

新春

人の聲

人の笑ひ

歡喜をたよひた人の面輪

日光に照られて

國に舞ひ狂ふ

それは優しい

新春のまごむ。

人の踊む姿も

入り伸びる姿も

空をうつす池のやうに

一樣に美くしい

人の華かな語りひ

それは白い鶴のやうに

いきよく羽はく。

新宮の大空

翠緑の芝生

露むる

ころろ清く

深淵の魚のやうに澄み

映る森羅萬象の色どりは

花の乙女の純淨さ。

聖市
伊藤八十二

全 神田貢

全 太田吉太郎

全 光安萬藏

全 上田義雄

全 黒木定治

全 長谷川末記

全 小林美登利

正賀
高山運平
寫眞師
サンバウロ市

恭賀新年
椎野兄弟商會
雜貨直輸入商
聖市エルミニヨレモス九

恭賀新年
金城山戸
聖市

新賀年
高岡専太郎

御旅館常盤

館主 石原桂造
聖市コンデサルゼダス四一

恭賀新年

謹賀新年
大正十四年一月一日

海外興業株式會社支店
國伯

耕地
植民部
聖市
アニユーマス
イグアツベ

謹賀新年
藤崎商會

本店 リオデチャネロ
支店 サンバウロ
ペルナンブコ

班鳩平次

斯波南叟譯

舉れ高き班鳩平兵衛と、ふ大豪
兵衛の舉動を見ますと却々尊
傑か居ました。この平兵衛といふ
人は何ういふ處から綽名を得
ましたか？お見へるに御座ります
度お招きに預りまとて南斐
に御座しまる長々御聴に達し
ました『伊達騒動』御評判を頂戴
しまして、かづちりない次第に
玉儀ナタールのローラニアに當り
まし氣でも狂ひましたものか
取るものも取りあへず有頂點お
はなりまして歐洲經由と大轟風
を吹かしましてからに急に歸國
致しました講演の中途でスッポ
かすなんか身勝手なお話で嘸お
怒りちございませうがやつかれ
に面じお許しを願います。變り
ましてお耳に入れますは加藤清
正公の十勇士の一人班鳩牛兵衛
一名狸平兵衛の伴班鳩平次武勇
鑑といふ頗る面白い御話でござ
ります。不相變御評判の程願奉
これは豐臣秀吉公の寵臣加藤主
計清正公の朝鮮征伐の功には
鬼上官と呼ばれ遠く異域の國ま
で勇名を轟かし忠烈としては
大阪大地震の際に其の名を擧げ
二代秀賴公を補佐して徳川家康
公に忌憚せられ到頭家康公のた
めに毒殺に罹り敢なく命を落
し二代肥後守忠廣と熊本城主と
なられましたがこれ又豪奢の爲
にお家斷絶と相成りました併し
流石は加藤家だけございまして
勇士も數ある中に至つて豪傑の
聞えるある武勇の家臣が十人ござ
います之むを加藤の十勇士と稱
へましたが何しろ此十勇士は清
正公朝鮮征伐のときから隨從致
し數度の合戦に勇名を轟したも
のも。二代忠廣公へ仕へ相變らず
忠勤を盡して居りましたが前申
す通り加藤家は到頭断絶いたし
ましので皆それくに己が志
の方へ四離八散と相成りました
その十勇士の内でも殊に武勇の
が父親の情でござります殆に平
の民衆をつれ岩沼の辺に参り向

明けましてお日出度う御座ります
す今度お招きに預りまとて南斐
に御座しまる長々御聴に達し
ました『伊達騒動』御評判を頂戴
しまして、かづちりない次第に
玉儀ナタールのローラニアに當り
まし氣でも狂ひましたものか
取るものも取りあへず有頂點お
はなりまして歐洲經由と大轟風
を吹かしましてからに急に歸國
致しました講演の中途でスッポ
かすなんか身勝手なお話で嘸お
怒りちございませうがやつかれ
に面じお許しを願います。變り
ましてお耳に入れますは加藤清
正公の十勇士の一人班鳩牛兵衛
一名狸平兵衛の伴班鳩平次武勇
鑑といふ頗る面白い御話でござ
ります。不相變御評判の程願奉
これは豊臣秀吉公の寵臣加藤主
計清正公の朝鮮征伐の功には
鬼上官と呼ばれ遠く異域の國ま
で勇名を轟かし忠烈としては
大阪大地震の際に其の名を擧げ
二代秀賴公を補佐して徳川家康
公に忌憚せられ到頭家康公のた
めに毒殺に罹り敢なく命を落
し二代肥後守忠廣と熊本城主と
なられましたがこれ又豪奢の爲
にお家断絶と相成りました併し
流石は加藤家だけございまして
勇士も數ある中で至つて豪傑の
聞えるある武勇の家臣が十人ござ
います之むを加藤の十勇士と稱
へましたが何しろ此十勇士は清
正公朝鮮征伐のときから隨從致
し數度の合戦に勇名を轟したも
のも。二代忠廣公へ仕へ相變らず
忠勤を盡して居りましたが前申
す通り加藤家は到頭断絶いたし
ましので皆それくに己が志
の方へ四離八散と相成りました
その十勇士の内でも殊に武勇の
が父親の情でござります殆に平
の民衆をつれ岩沼の辺に参り向

謹賀新年

且元月

日本貿易商會
聖市

正賀

ソロカバナ線、アバレー驛
仲買商
長田茂八

恭賀新年

赤嶺新野榮

宮城利三郎
比嘉秀吉辻野九一
翁長福三金城幸吉
大城源昌謹賀新年
上地旅館聖市 ルアマウア二九一番(ソロカバナ驛前)
電話 シダーデー一四七六聖市 ルア・ボニータ十一番
電話 五七〇一
郵函 一二二二五

謹賀新年

聖市 コンセレイロフルタード街十六番
(マンデ坂上) 電話 セントラル四四七六大城源昌
辻野九一
翁長福三
金城幸吉
大城源昌

謹賀新年

聖市 コンセレイロフルタード街一番
電話 セントラル四一〇二

聖市 ルアマウア二九一番(ソロカバナ驛前)

電話 シダーデー一四七六

謹賀新年
東京館聖市 ルアマウア二九一番(ソロカバナ驛前)
電話 シダーデー一四七六セルケーラ、セザール驛
農産物
仲買商
岡島仁郎セルケーラ、セザール驛
農産物
仲買商
長田茂八謹賀新年
御旅館旭

廣島屋旅館

聖市 コンセレイロフルタード街一番
(マンデ坂上) 電話 セントラル四四七六大城源昌
辻野九一
翁長福三
金城幸吉
大城源昌セルケーラ、セザール驛
農産物
仲買商
岡島仁郎セルケーラ、セザール驛
農産物
仲買商
長田茂八

謹賀新年

聖市 コンセレイロフルタード街一番
電話 セントラル四一〇二

聖市 ルアマウア二九一番(ソロカバナ驛前)

電話 シダーデー一四七六

謹賀新年

聖市 ルアマウア二九一番(ソロカバナ驛前)
電話 シダーデー一四七六

西風に靡く黒煙の中から
『勝つたぞ』と云ふ凱歌が聞え
遙に夫を見守る婦人の一群。
まだ切りこれぬ林の前に
手馴れの斧を手にして立つ男
吹き捲く西風に煽られる
黒煙
恐怖と嬉悦にこんがらかつた
感情に兩疊りの空を凝視める
地平の果から雨が來る
真黒になつた遙り天ざ
譲々と捲き上る黒煙
バリ／＼と碎け焼ける雜木
征服者と被征服者
丘腹に見える焼林の中に
小さな「生」が伸びてゐる
真黒な裸体の焼木に
吹き當る強風！
おん身等の斧の力で
そのたくましい腕力で
こぎ倒し切り倒し焼き拂つた
大地の下に小さな「生」が息づ
いてゐる。

「新生」だ！
その青緑の棉の葉を見よ
その散在して居る綠葉を見よ
其處からは「新生の曲」が生え
其處におん身等の生命がある
血が流れてゐる
それはおん身等の貴い命だ殺
すな！

「勝つたぞ」と云ふ凱歌が聞え
遙に夫を見守る婦人の一群。
まだ切りこれぬ林の前に
手馴れの斧を手にして立つ男
吹き捲く西風に煽られる
黒煙
恐怖と嬉悦にこんがらかつた
感情に兩疊りの空を凝視める
地平の果から雨が來る
真黒になつた遙り天ざ
譲々と捲き上る黒煙
バリ／＼と碎け焼ける雜木
征服者と被征服者
丘腹に見える焼林の中に
小さな「生」が伸びてゐる
真黒な裸体の焼木に
吹き當る強風！
おん身等の斧の力で
そのたくましい腕力で
こぎ倒し切り倒し焼き拂つた
大地の下に小さな「生」が息づ
いてゐる。

恐怖と嬉悦にこんがらかつた
感情に兩疊りの空を凝視める
地平の果から雨が來る
真黒になつた遙り天ざ
譲々と捲き上る黒煙
バリ／＼と碎け焼ける雜木
征服者と被征服者
丘腹に見える焼林の中に
小さな「生」が伸びてゐる
真黒な裸体の焼木に
吹き當る強風！
おん身等の斧の力で
そのたくましい腕力で
こぎ倒し切り倒し焼き拂つた
大地の下に小さな「生」が息づ
いてゐる。

西風に靡く黒煙の中から
『勝つたぞ』と云ふ凱歌が聞え
遙に夫を見守る婦人の一群。
まだ切りこれぬ林の前に
手馴れの斧を手にして立つ男
吹き捲く西風に煽られる
黒煙
恐怖と嬉悦にこんがらかつた
感情に兩疊りの空を凝視める
地平の果から雨が來る
真黒になつた遙り天ざ
譲々と捲き上る黒煙
バリ／＼と碎け焼ける雜木
征服者と被征服者
丘腹に見える焼林の中に
小さな「生」が伸びてゐる
真黒な裸体の焼木に
吹き當る強風！
おん身等の斧の力で
そのたくましい腕力で
こぎ倒し切り倒し焼き拂つた
大地の下に小さな「生」が息づ
いてゐる。

▲ 日伯詩壇

泡影子

謹賀新年

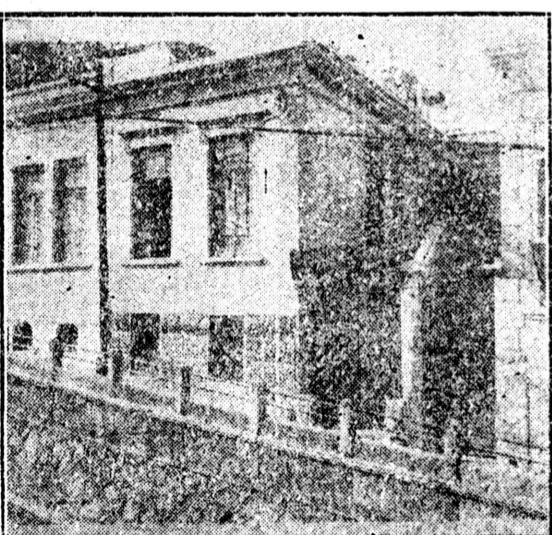
聖市 振旗深志

水野龍

恭賀新年

所次取符切

大阪商船



盤常館旅御

番一十四 スダ・ゼルサデンコ市聖
三七一六ルラトンセ 話電

恭賀新年

建築請負業

とめじよ組

聖市

謹賀新年

横濱正金銀行

リオデチャネロ
リオ支店

正賀

家具商

吉田政之進

カーザジヤポン

ルアード、アロウシェ四

全長谷川武

全曳地傳之助

全星野勝蔵

全杉野正喜

全楠作右衛門

全大河内辰夫

全岸本次男

征服者と被征服者
地平の果から雨が來る
真黒になつた遙かの天ざ
譲々と捲き上る黒煙
バリ／＼と碎け焼ける雜木

伯正を迎へて

謹賀新年

小松田八郎

富岡漸

イグアベ殖民地
伯刺爾時報社代理店
日伯新聞社代理店

すやま商店

菅山鷹造

誠吉

イグアツベレジストロ殖民地

商業俱樂部

出利葉兄弟商會

馬場營業事務所

渡邊ヘンソン

中島商店

久保鐵工場

栗田兄弟商會

安田運送店

前地ホル

坂野原木商鋪

廣岡菓子舗

佐青木商店

松澤商店

前原木商店

次憲子舗

イグアベレジストロ殖民地
菅山鷹造

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
菅山鷹造

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
歸山發太郎

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
豊田小四郎

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
安田發太郎

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
安田運送店

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
野村忠三郎

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
出利葉羊三

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
片山日吉

誠吉

イグアベレジストロ殖民地
野見山秀雄

誠吉

謹賀新年

正月元日

安田運送店

店主 安田治平

恭賀新年

大正拾四年元旦

新入のお客さん、虫の音を悲しみながら庭のベンチに腰掛け

静に星の数を数へてゐるよ、裏の方下ベッタンコの音がする

流石お正月だ。餅搗きがある。

強か感に堪えてゐる。

太閤さんの聲として「オ

俺にばかり拘かせて置かんと

誰か來んかい」「よし、をいらも

手轉はよ」と臼の傍へ立つた見

は餅米にしては馬鹿に大きいそ

の筈豆搗きなんだ、斯くて生れ

初めて豆腐正月といふものを

呉つた。

去月二十五日午後十時頃から少なからず消防隊も降りしきドを救助、努めたりと、リナードを救助する様な大柄でプラス力面下町では家屋の浸水したるものが多々現れ、甚だ惨憺たる事態が見受けられる。一方、同僚猛烈な風雨襲来、ルゴー附近の家屋に浸水し、其他屋根がくずれり壁崩れ崩壊等の被害が多いたゞ。

● 同仁會の樂學生 同仁會 慢病學生林尾試験は既報の通り十二月廿日執行、受験者三名に中坂元小島の両青年合格した。

● 新移民着く 第二回目の新移民並に呼寄等約五百人を遣せた郵船阿波丸は暮の二十九日無事サンントス着、三十日朝上陸即日上陸移民收容所に入つた。

● 内地だより 待ち兼ねて五時半に来たホツカした涼はよいが切暮近くなるべく降るわ降るわ、一がく一がく断つて見た所を追付かず芋は腐き芽は矢鱈に延び過ぎて大弱り

● 生れた赤子が歩く 生れ莢ちふさオヤヤと云ふ代りに「古牛の今夜を忘れたか」と怒鳴られた赤ん坊が日本はあるが、此程支那は湖南省樂鄉で生れ落ちたり二三歩歩いた赤ん坊がある。その織物商彭四の妻が妊娠六ヶ月目に生んだ子で目方が十一斤半鼻が天狗のやうで、オシコが三つあつた、が生後四日目に死んだ相だ。

● 爲替 十二月二十三日郷里送金建相場間につき三針四百一ースなり

1 de Janeiro de 1925 N. 403

大正十四年一月一日 赤壁日 第四百三號

謹賀新年

在リオ 帝國大使館	出張所 野菜業 聖市 サンターナ	新 上利山三郎	サントス 野村秀吉	サントス 戸田義雄
田村七太 青木新 福間豊藏 野田良治 青木新 福間豊藏 野田良治	春日廓明 土屋久司	中山龟太郎 聖市 多賀秀孝 大澤健一 入江一清 三菱合資社員 伊藤陽三	アラムダ トマス 中河原毅夫 齊藤芳造 三浦文夫 佐藤正宣 栗津金六	アラムダ トマス 大河原毅夫 齊藤芳造 三浦文夫 佐藤正宣 栗津金六
森本彌 竹内寛 常國總領事館 在サンパウロ 齋藤和	領事館 古關富彌 入江一清 三菱合資社員 伊藤陽三	全 中山龟太郎 聖市 多賀秀孝 大澤健一 入江一清 三菱合資社員 伊藤陽三	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六
全 東美代平 赤城哈三 全 赤城哈三 全 北川正幹	原村喜之助 杉野喜太郎 神田榮太郎 名嘉文五郎 日下勝造	全 杉野喜太郎 神田榮太郎 日下勝造	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六
全 鷲谷岩吉 全 鷲谷岩吉 会田慶佐	上田留次 尾崎孫三郎 全線ブレシデンタアルベス M. Ozaki Caixa 262 Est. Lins E. Noroeste	上田留次 尾崎孫三郎 全線ブレシデンタアルベス M. Ozaki Caixa 262 Est. Lins E. Noroeste	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六	自動車業 矢野正登 矢野孫六 矢野孫六 矢野孫六

謹賀新年

大正十四年一月一日

伊東商店

サンバウロ市

DR. M. SACADA
MEDICO E OPERADOR

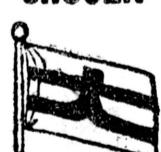
C. Postal, 124 Est. Lins
Linha Noroeste

伯國リオ醫科大學醫學士

篠田正徳

日本
ニコラス・ラミレス
郵便局

OSAKA SHOSEN KAISHA



發
日本
めきじく丸
日本
じかく丸
日本
常盤旅館
日本
Autunes dos Santos e comp.
Rua José Bonifácio 178, Paço
Rua do Commercio, 84 Santos
Wilson & Sons & Co Ltd
Av. Rio Branco 17 Rio

Elixir 914

GALVÃO & Cia.
Av. S. João, 145 S. Paulo

本剤は微毒病唯一の科學的血清剤です。
微毒性リユーマチスに罹る人、流産の解
する婦人は本剤數瓶を試みなさ、直ち
に効顯があります。其他フェリード、接
其他毒性毛膜け潰瘍ハグ等諸病にお困り
の方は本剤をお求めあれ。

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

FERNANDO HAKRADT Co

Rua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 984 São Paulo;

肥料
肥料
作物に肥料は一番大切です。弊店の肥料は
獨逸式で草、糞、野菜、咖啡、ミリョ等夫々別
の肥料を差し上げます。品物は極上有效です
四月十五日より一頓に付十ミル宛道上り
日本大諸君には特に御用意を計ります
弊市 サンバント三十三番二階七號室
フエルナンドハククラド商會
九八四